

きりん組だより

R6・8・23 (金) 佐藤 菜摘

今月のねらいは、《自分の考えを言葉で伝える中で、相手の思いにも気づき、友達との関わりを深める》でした。戸外や畑で見つけた虫に興味をもち、飼育を始めた子ども達。生き物の生態や特徴を知り、発見や驚きを伝え合う姿をご覧ください。

お！食べてる食べてる・・・



なにかここにいる～！

毎朝、畑で野菜の収穫をしてくれる蓮ちゃん。「何かいるよ～！」と、周りに知らせています。どうやら、ちょうちょの幼虫を発見したようです。



めっちゃめっちゃ大きくなってる～！



発見した時は、黒くて小さな幼虫でしたが、みるみる大きく成長し、子ども達は、あおむしの動きや葉を食べる姿をよく観察するようになりました。「見て！ウンチいっぱいしてるよ！」「どんなちょうちょに変身するんだろうね。」など、会話もはずみます。



あおむしの体は、どんな模様だったかな・・・

みんなは、どう思う？



虫かごを囲み、話し合う子ども達。「あと何日でちょうちょになるのかな？」「どんなちょうちょになると思う？」など、それぞれの思いや考えを伝え合っていました。



へー、そうなんだ！

さなぎになったら動かなくなるんだよね。

もしかして、このあおむし、キアゲハになるんじゃない？



真剣！！



あおむしの飼育をとおして、いろいろな気づきや考えを互いに伝え合って、さらに興味や関心が広がりました。そして、その興味や関心が絵を描く事につながりました。よく見て考えて、楽しみながら描いていました。

※ちょうちょになることを楽しみにしていましたが、お盆中に3羽が羽化しました。残りのさなぎが、無事羽化することを楽しみにしたいと思います。